

## 第 71 回西日本新人カッター競技大会報告

第 71 回西日本新人カッター競技大会  
実行委員会

本大会は、令和 7 年 11 月 2 日（日）、山口県下関市の水産大学校吉見沖海上にて開催した。選手・関係者・応援者による 500 名程の参加の下で、一般レース（6 チーム）と女子レース（5 チーム）を行った。

低気圧の影響により大会 2 日前から風強く、その後、西高東低の気圧配置となり、大会当日は風向：W'st～N'th、風速：9m/s、波高：1.3m の状況となった。図 1 に示す当初のレース海面は西寄りの風浪を受け、加茂島から沖回頭点（女子スタート）付近で横波となるウネリが大きく、当該海面はレースに使用できなかった。一方で加茂島から吉見湾内はレースに支障のない海面状況であり、コース形態を次のように変更しレースを実施した。

一般・女子ともに、陸側の出発点から 1,000m 先の各コースフラッグに向け、權漕させた。その後、500m 地点陸岸に配置した陸上審判により回頭ラインを見通し線により判断し、同ラインを越えた瞬間に各コースに向け順次旗信号（補助信号としてトランシーバーによる通信）を發し、仮想回頭させ 1,000m の距離を競った（図 2、写真 4）。なお、本回頭方式は海面状況を考慮した特例である。一般は、当初の 2,000m から半分の距離となり、女子は当初の直線競技から回頭を要すレースとなった。表 1 にレース結果を示す。優勝は一般・女子ともに海上保安大学校であった。荒天下であったが、各チームは日ごろの練習の成果を発揮し操艇すばらしく、レース進行に全く遅滞を生じなかった。

今回は急遽、仮想回頭方式の採用となったが、各チームのシーマンシップによりトラブルは生じなかった。今後、荒天により同様のコース設定となった場合、一般において所定の 2,000m のレースとなる様にコースを 2 往復させるなどの対応を検討する。

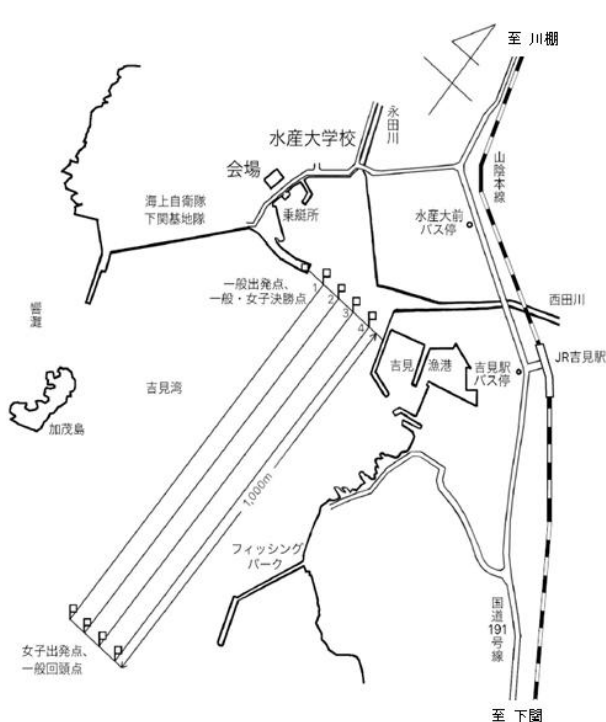


図 1 当初予定していたコース

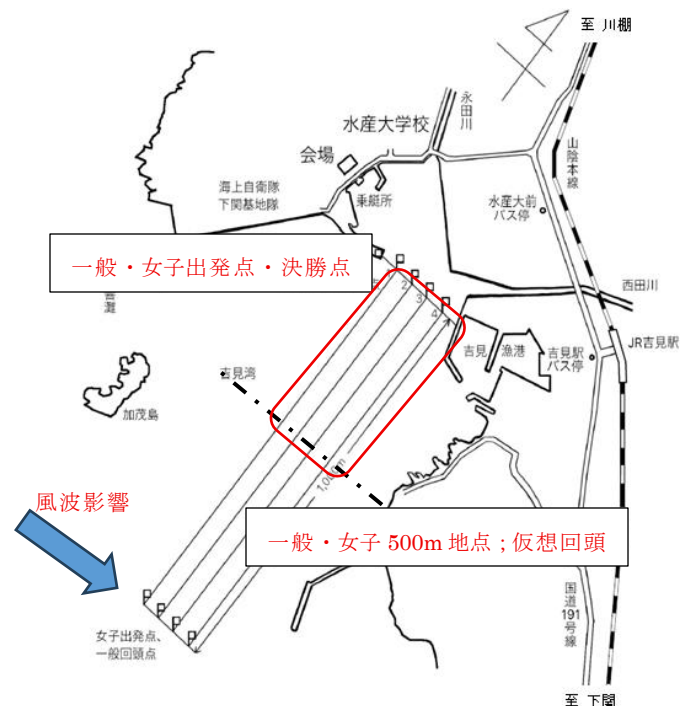


図 2 変更したコース（破線部で仮想回頭）

表1 レース結果

第71回西日本新人カッター競技大会

令和7年11月2日(日)

会場: 水産大学校 吉見沖海上(山口県下関市)

天候: 晴れ

風向・風速: W'st~N'th 9m/s

波高: 1.3m

時刻	種 目	コース	大学(校)名	艇	着順	タイム	備考
08:30	開 会 式						
09:50	一般予選 第1レース	1	鹿児島大学	2	2	6分20秒30	
		2	水産大学校	5	3	6分21秒11	
		3	海上保安大学校	1	1	5分54秒53	
10:05	女子予選 第1レース	1	京都府立海洋高等学校	15	3	13分32秒26	
		2	水産大学校	17	2	9分22秒92	
		3	鹿児島大学	13	1	9分16秒11	
11:00	一般予選 第2レース	1	京都府立海洋高等学校	3	2	6分27秒11	
		2	神戸大学	1	1	6分15秒93	
		3	長崎大学	2	3	6分27秒58	
11:15	女子予選 第2レース	1	海上保安大学校	15	1	8分13秒41	
		2	長崎大学	13	2	9分30秒40	
昼 休 憩							
12:50	一般 敗者復活レース	1	京都府立海洋高等学校	2	3	6分13秒84	
		2	鹿児島大学	3	4	6分14秒81	
		3	長崎大学	1	1	6分05秒08	
		4	水産大学校	5	2	6分13秒00	
13:00	女子 敗者復活レース	1	京都府立海洋高等学校	13	3	13分26秒11	
		2	長崎大学	17	1	9分04秒75	
		3	水産大学校	15	2	9分33秒48	
14:20	一般 決勝レース	1	海上保安大学校	5	1	5分49秒18	
		2	長崎大学	2	2	6分10秒92	
		3	神戸大学	1	3	6分18秒71	
		4	水産大学校	3	4	6分25秒39	
14:35	女子 決勝レース	1	海上保安大学校	13	1	7分51秒03	
		2	長崎大学	15	2	9分05秒90	
		3	鹿児島大学	17	3	9分25秒54	
15:25	閉 会 式						

一般：優勝 海上保安大学校、2位 長崎大学、3位 神戸大学、4位 水産大学校、  
5位 京都府立海洋高等学校、6位 鹿児島大学

女子：優勝 海上保安大学校、2位 長崎大学、3位 鹿児島大学、4位 水産大学校、  
5位 京都府立海洋高等学校





写真1 一般決勝レーススタート（手前から、海上保安大学校、長崎大学、神戸大学、水産大学校）



写真2 一般決勝点付近（手前の海上保安大学校が快走）



写真3 女子決勝レーススタート（手前から、海上保安大学校、長崎大学、鹿児島大学）





a：各コースの旗色（手前：第1コース・オレンジ、奥：第4コース・青）



b：旗信号・着衣によるアピール

写真4 仮想回頭指示関係

（bは、第3コースおよび第4コースに回頭を指示する様子を示す。）

（第3コース旗信号のみコース旗色と同色ではなく白旗を両手に使用した。手旗の赤旗は背景と同化し見えにくかったため両手に白旗を用いた。）

（旗振方法 第1コース：上下、第2コース：円、第3コース：V字、第4コース：上半円）



写真5 防波堤内側（吉見湾）に対し、時化模様となった防波堤外側（響灘）



写真6 一般優勝表彰：優勝旗授与



写真6 女子優勝表彰：メダル授与

写真提供：水産大学校学生部長 大原順一教授